

姓を選ぶ権利—市民の声から

#男女共同参画
ってなんですか

代表 櫻井 彩乃

男は強くなきゃダメ
って誰が決めたの？

スカートを履くことに
性別って関係あるの？

どうして男性は育休を
とりにくいの？

なんで女だからって
入試で減点されるの？

なぜ同性婚は
みとめられないの？

結婚したら男性の姓に
なるのは当たり前？



生まれてきた性別によって、
選択の幅が狭まるこの国で、
あなたは自分らしく生きていくことができますか？

どうせ自分だけの思いじゃ何も変わらないと
思うかもしれません。

けれども、
いつだって未来を変えるのは
わたしたち一人ひとりの思いです。

わたしたちは、
もっと自由に、自分らしい人生を、
胸を張って歩んでいける。

もう誰かがつくった未来ではなく、
自分たちがつくった未来を生きていきませんか？

性別に関係なく自分らしくいられる
国をつくるのは、わたしたち若者です。

あなたの思いで未来をつくろう。

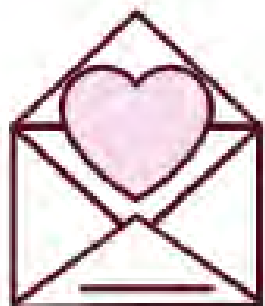
Mission

第5次男女共同参画基本計画に
30歳未満の声を届け反映させる



#男女共同参画
ってなんですか

どれぐらい集まったのか



1050

(8/1~9/2)



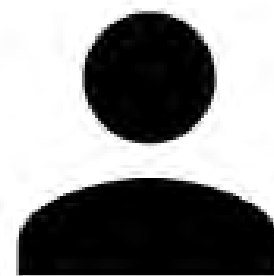
1700

(7/20~9/4)



32

共感団体



700

選択的夫婦別姓の早期実現に 関する意見が一番多かった

集まった想い(30歳未満)

・選択的夫婦別姓の早期実現を求めます。なぜ結婚したら大半の女性が姓を変えるのが普通になっているのか理解できない。私だって自分の姓を愛している。結婚してもあくまで個人だと思うので、夫婦別姓の何が悪いかわからないです。

・早急に夫婦別姓を実現してください。ずっと一緒にいたいと思うパートナーがいますが、お互い親からもらった名字を変えたくないし、変えると職業的に非常に困るので、結婚には消極的になっています。なぜ夫婦別姓の選択肢はないのでしょうか。また、現状では結婚に伴う改姓は女性が行うケースが9割を超えていますが、このような不平等が女性の社会進出の妨げや、ひいては若年層の未婚率の増加に繋がっている可能性はないのでしょうか。

集まった想い(30歳未満)

・私は今身をもって体感していますが、姓を変えるというのは一大事です。仕事についている人の苦労は具体的にはわかりませんが、その大きさについては想像がつきます。仕事についている人にとって過去の業績をさかのぼるのが難しくなるというのは結構な損失です。それに加えて、手続きそのものも働いている人には結構な手間がかかります。これらの不利益を結婚をする二人に一人が受けるので、社会全体としてはそれなりの損失があるのではないのでしょうか。選択的夫婦別姓を導入すれば、無駄な労力を姓の変更に費やすことがなくなり、より豊かな社会が築けるのではないかというのが私の持論です。気持ちのことを言えば私が今やっている煩雑な手続きをやりたくない人にやらせてほしくないのです。

集まった想い(30歳未満)

- ・選択的夫婦別姓の実現を求めます。姓を変えることは、自分にとってアイデンティティーの消失です。この社会に自らの名前を奪われる、という感覚です。パートナーと2人だけの生活であれば事実婚の状態でも問題ありませんが、子どもを持ちたいと思ったときにはなかなか難しいです。もうすぐ30歳、徐々にタイムリミットが迫っていることも感じています。どうか検討をお願いします。
- ・結婚で夫婦どちらか片方の名字が変わるのは手続きも面倒だし今の時代にそぐわないと思う。選択的夫婦別姓制度を採用すべき。

集まった思い(30歳未満)

・ 選択的夫婦別姓を求めます。昨年結婚し、半年間事実婚として過ごしたあと入籍しました。ずっと旧姓のままにいたかったのですが（大学院の学位取得をしたため、論文などは旧姓にて執筆し、実績があったので本当は変えたくなかった）夫の実家の強い希望により、夫の姓となることになりました。今までの自分が全てなくなってしまったかのような喪失感がありましたが、いつか夫婦別姓を選択することができる社会になり、同じような気持ちになる人が少しでもいなくなれば嬉しいです。

集まった思い(30歳未満)

・旧姓利用では足りません。これからは転職も当たり前になります。新姓になってからの転職で、旧姓利用ができる可能性は限りなく低いです。また銀行や役所、病院でも、旧姓で読んでくれるわけでもないのに、なぜ時間をかけ旧姓併記の手続きをする意味があるのでしょうか。パスポートでは、旧姓併記をしたことで、諸外国の空港でトラブルにもなると聞きました。すでに国連の勧告も受けています。私達の要求に正対してください。姓を揃えたモデル家庭にしか向き合わない姿勢を国民は見ています。それすらできない日本で、子供は増えないでしょう。

集まった思い(30歳未満)

・ 選択的夫婦別姓の早期実現を求めます。選択的夫婦別姓の制度がないと、今の交際相手との法律婚を考えることができません。私たちはどちらも自分が生まれ持った名前に誇りを持っています。煩雑な手続きや精神的な疲労、アイデンティティーの剥奪を相手に求められること・求めることが結婚なら、私たちはそれを選択したくはありません。姓を変えるのは女性という風潮にも嫌気がさします。女性であるというだけで、好きな人と新しい生活を始めるために上記のような必要のない苦痛を味わいはなければならなかった人はどれほどいるのでしょうか。

集まった思い(30歳未満)

・ 選択的夫婦別姓を求めます。私の考える男女共同参画は、「男女が共に等しく自分らしく生きられる社会」です。私の場合、結婚を考えるようになってから、男女の壁を思い知る機会が増えました。以前から改姓に抵抗がありました。なぜ（一般的に）女性ばかりが改姓の負担を負わなければいけないのでしょうか。今までこのフルネームで活動をして、この名前にアイデンティティーをもって生きてきて、小さくても積み上げてきたものがあるのに、名字が変わることでゼロスタートに戻されるような気がしてなりません。結婚をしようがしまいがこれまでと同じ名前でこれからも自分らしく活動していきたいのに、また、結婚生活のスタート地点ですすでに主従関係ができるみたいだ、と何度も思いました。国際社会で別姓の選択権がないことは人権侵害であると勧告されているにも関わらず、一向に議論が進まない状況にととても悲しく思います。「第5次男女共同参画基本計画」の作成に際して、通称利用の拡大だけでなく、選択的夫婦別姓制度の導入に向けた働きかけを強めていただくことを強く希望します。後続く世代に同じ思いをさせたくありません。どうぞよろしくお願いします。



9月4日
U30の思い＋ユース提言
橋本聖子大臣に手交

橋本前大臣から

- 基本計画の策定に若者の意見を反映することの重要性
 - 若者が自らの考えを示し政策決定に関与すること称賛
 - これからの人の意見を基に政策を作っていくべき
- 「若者の声で5次計画つくろう」**

選択的夫婦別姓制度の導入について、
「国民間にさまざまな意見があると承知しているが、
わが国の深刻な少子高齢化を食い止めるためには、
国民、とりわけ若い世代のこうした意見を
しっかりと受け止めて、十分に配慮する必要がある」

（衆院本会議 2020年10月28日）



いつになったら選べますか？

オンライン署名キャンペーン

呼びかけ人

櫻井彩乃（発起人）

キャンペーンの提出先

橋本聖子男女共同参画担当大臣、
上川陽子法務大臣、選択的夫婦別姓
導入に反対の考えを示すかたを含む
自由民主党の国会議員

要望

選択的夫婦別姓の早期実現

「夫婦同姓」と「夫婦別姓」どちらか選べるようにしてください

期間

11/27 18時～12/1 23:59

方法

change.org(署名サイト)
SNS

賛同者

年齢、性別、国籍問わず



いつになったら選べますか？

選択的夫婦別姓導入に向けた工一ルを!

「夫婦同姓」と「夫婦別姓」
どちらか選べるようにしてください

賛同者

30,637 名

2020年12月2日21時07分現在

change.org



12月2日

橋本聖子大臣に手交

署名で集まった声(30歳未満)

- ・うちの世代が声を上げないと… どうか、悲しむ人が減りますように。 未来の私が悲しむことがありませんように。
- ・私は私の姓で生きていきたい。
- ・選択的夫婦別姓すら認められないこの国で結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を頑張るなんて無理。生きやすくしてほしい。
- ・選択の余地すら与えられない日本、やはりおかしいと思う。こんな国で希望をもって生きていけない。

署名で集まった声(30歳未満)

- ・自分は男ですが、もし将来結婚したら自分の名字を変えたくないし、パートナーにも押し付けたくない。選択的夫婦別姓が実現されるまでは結婚しない。
- ・私も選びたかった・・・（既に結婚しているU30から）
- ・なぜ選択肢を増やすことがダメなのか。納得できる理由を説明してほしい。「絆」「家族」って言われても共感できません。
- ・「誰でもどちらにも自由に選択できる」という社会が一番ステキだと思っています。

署名で集まった声(30歳未満)

- ・ お互いの今までの人生とこれからの人生を尊重しあう為に、私は別姓という選択肢が欲しい。
- ・ 選択的夫婦別姓が実現したら結婚したいと思います。
- ・ 選択的夫婦別姓ができたなら結婚しようねとパートナーと話しています。本当に、いつまで待てば良いのでしょうか…。子供を望んでいるのでいつまでも待てません。
- ・ 好きな人と同じ苗字になりたい 好きな人と自分の苗字のままに結婚したい どちらも叶う選択的夫婦別姓の実現を求めます。

署名で集まった声(30歳未満)

- ・ 未来を担っていく世代が選択的夫婦別姓を求めているのにその上の世代人らが絆とか家族の形とか勝手な理想を押し付け拒否してるの、そりゃますます「未来はない国」になるよなって感じ。
- ・ 一人娘だから苗字が途絶えるねと親からずっと言われてきた。来年、結婚するので認められてほしい！
- ・ もうすぐ結婚します。なぜ選ぶ自由がなく、強制的に一つの姓でなくてはならないのか。否定する理由は無いはずです。現状の法案では、どうも納得して結婚する事ができません。迅速な法改正をお願いします。

署名で集まった声(30歳未満)

・子どもの頃から結婚したら姓が変わること、姓を変えるのが当たり前のように女性であることに違和感を感じています。その考えに対し我が儘だ、受け入れられなんておかしいと言われ続けてきました。来月入籍しますがやはり泣く泣く夫側の姓になります。私が住んでいるところは田舎で事実婚も受け入れられません。戸籍上の姓が変わるだけで、生まれた家の人ではなく扱われます。実の両親からの扱いでさえ他人の家の人になります。本当に辛いです。一刻も早い選択制夫婦別姓を望みます。

署名で集まった声(30歳未満)

- ・なんで選べないのか？って話なので、同姓にしたい人はそのままできるわけですよ。なのに、夫婦の絆が～～家族の絆が～～って言ってる反対派の人の理由が本当に理解できません.....
いつになったら選べますか.....
- ・子どもの頃から誰に言われた訳でもないのに、将来結婚したら名字を変えなきゃいけないのイヤだなんてずっと思ってた。当たり前や固定観念を押しつけられる時代は終わりにしたい。選択出来る自由が欲しいだけ。

5次計画、選択的夫婦別姓の文言削除されたが…

昨年11~12月に選択的夫婦別姓に関する報道が多かった影響か

→選択的夫婦別姓に関心を持つ若者増

→選択的夫婦別姓という言葉、意味を知った若者増

→自分たちも今、未来のためになにかできないかと思う若者増

→政治(政策や議員)に関心を持つ若者増

→選択的夫婦別姓に前向きな議員への押し度増

これから…

Twitterで集まった30歳未満の若者15名で
選択的夫婦別姓を求めるユースチーム発足（2021年4月）

- 選択的夫婦別姓についての啓発
- 若い世代の声を意思決定権を持っている人々に届ける

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせなど



@mimosa_ayano(櫻井彩乃)



u30equal@joicfp.or.jp